



2024年4月25日

各位

会社名 株式会社Q P S 研究所  
代表者名 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔  
(コード：5595、東証グロース市場)  
問い合わせ先 代表取締役副社長 COO 市来 敏光  
(E-mail：ir@i-qps.com)

## 大型案件の採択に関するお知らせ

当社は、新たに国土交通省「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）」の大規模技術実証事業2件に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 採択内容

募集機関：国土交通省  
研究開発課題：テーマ④  
「次世代機器等を活用した河川管理の監視・観測の高度化に資する技術開発」  
交付上限額：197百万円（内、当社に交付される補助金の額：88百万円）  
事業期間：2028年3月まで

本研究開発課題は、大規模災害時に様々な衛星を活用し、撮影から最短で2.5時間以内に浸水・土砂災害の発生情報を提供するサービスを開発し、国土基盤情報から浸水家屋数、浸水被害人口などの基礎情報に加え、被害エリアからDEM情報を活用した浸水深、湛水量を算定し、排水活動支援情報の提供サービスを開発することを目的としております。

募集機関：国土交通省  
研究開発課題：テーマ⑤  
「次世代機器等を活用した道路管理の監視・観測の高度化に資する技術開発」  
交付上限額：133百万円（内、当社に交付される補助金の額：49百万円）  
事業期間：2028年3月まで

本研究開発課題は、定期的に有人で点検が必要な、長大かつ広範囲の道路土工構造物を衛星で監視し、点検対象範囲の危険度評価（スクリーニング）情報を提供するサービスの開発や、大規模災害時に様々な衛星を活用し、撮影後、最短で2.5時間以内に交通支障の発生情報を提供するサービスを開発することを目的としております。

上記2件の大規模技術実証事業は、いずれも国土交通省が募集した「中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）」の内、「災害に屈しない国土づくり、広域的・戦略的なインフラマネジメントに向けた技術の開発・実証分野」に関連する事業です。衛星データサービス企画株式会社が代表提案者、株式会社ハイテックス及び当社が共同提案者となり、採択されております。

#### 2. 今後の見通し

本件の採択は、今期2024年5月期の業績予想において想定しておりません。また、来期2025年5月期以降の業績に与える影響は、現在精査中です。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに情報開示いたします。

以上